



富山県SDGs宣言実施状況報告書



2026年 4月 28日

企業・団体名 呉羽自動車学校

代表者名 代表取締役 池田 治郎

富山県SDGs宣言において宣言した取組みの実施状況について、下記の通り報告します。

記

1 取組み期間 令和 7年4月1日（宣言日又は令和6年4月1日）～令和8年3月31日

2 取組みの実施状況

No.	SDGsの達成に向けた目標と取組の実施状況
1	【目標】地域の交通安全教育センターとして、安全の精神と高度な知識・技能を持った思いやりのある優しいドライバーを養成することで、交通マナーの向上と地域の交通環境に貢献します。 【実施状況】新規免許取得希望者に対する教習サービスの提供のほか、富山市立寒江小学校の自転車安全運転教室の実施や、富山県トラック協会の年間を通して継続的な講習、他富山市内近隣の企業様からの安全運転講習の依頼を受けて、新入社員運転研修や免許取得者に対する安全運転講習等を実施した。また、富山県警察からの依頼により、高齢者ドライバー向けのシルバードライビングスクールを実施した。認知機能検査について、タブレットの操作などにご不安な方を対象とした「認知機能検査体験アプリ・MOGI」を導入し、事前予約制で認知機能検査のタブレット操作練習を無料で実施した。
2	【目標】全職員で様々な環境活動に積極的に取り組むことで地域社会の環境保全に貢献し、長く安心して暮らせる地域づくりに努めます。 【実施状況】オンライン学科やオンデマンド学科教習の実施により、大雪・台風・地震等の自然災害においても教習が継続できるように教習サービスやシステムを維持した。クールビズ・ウォームビズを採用し、冷暖房設備に依存しないよう年間を通して空調と服装に留意して業務を行った。走行距離が多くなる高速教習においては積極的にハイブリッド教習車を使用し、排気ガスの削減を意識した。前年度よりも校舎内のこまめな節電を強化し、夜間における不必要な校舎内照明を教習に影響がない範囲で、可能な限り消灯した。
3	【目標】「心をそだて、技を教える」を教習理念とした教習業務を実践できる優れた対人折衝能力と高度な専門知識を持ち合わせた人材の開発・育成に積極的に取り組みます。 【実施状況】新たに採用となった3名に対し教習指導員養成を行う。（有資格者の中途採用に依存せず、新規未経験者の採用を積極的に行った。）また、既存社員に対する各種講習・勉強会・意見交換会の機会を積極的に提供した。既存社員の新規資格取得を支援し、検定員資格取得者も増員させた。職員に対して、年次有給休暇の取得を積極的に推進した。

※宣言日（ウェブサイト掲載日）から3か月に満たない場合は、翌年度からの報告となります。